

ス ポ ー ツ 焼 津

SPORTS YAIZU SPORTS YAIZU SPORTS YAIZU

発行 / N P O 法人焼津市スポーツ協会
(事務局：焼津市保福島1050焼津市総合体育館内)



ごあいさつ

特定非営利活動法人焼津市スポーツ協会
会長 橋本喜史

世界中の人が最も注目と関心を寄せるイベントはオリンピックだといわれています。今年二月に開催された北京冬季オリンピックでは日本選手が輝かしい活躍によって、過去最多の18個のメダルを獲得

得する快挙を挙げました。圧巻はスノーボードハーフパイプで、平野歩夢選手は2回目のランで実況から『人類史上最高難度のルーティン』とまで評される超大技を決め

を超越した前人未到の4回転半ジャンプに挑戦しました。こうした極限に挑戦する気概は多くの人の心を打ち、深い感銘を与えました。静岡新聞コラム『大自在』では、東日本大震災で被災したパラリンピックバイアスロン12・5km 出場の阿部友里香さんについてふれ、『被災地代表といわれることに葛藤があつたという。だが、昨年の東京五輪・パラリンピックをテレビ観戦し、自分も頑張ろうと思えた。『滑りで勇気づけたい』そう実感できるのがスポーツの魅力だろう。』と報じています。

なりましたが、3回目のランでさらに高い完成度でもう一度同じルーティンを滑りきり、見事金メダルを手に入れました。こうした達成感を抱きながらも、インタビュアーへの穏やかで丁寧な受け答えからは、勝者の驕りは見られませんでした。そして羽生結弦選手は3連覇を期待されながら勝敗

となり、心の余裕につながっているのかもしれない。スポーツを観戦するだけどこまで人の心をつかむかはどこにあるでしょうか。スポーツ観戦で心に活力をもらい、自分で行うスポーツでからだに心に活力を得る：ここにスポーツの魅力があるのだと思います。

焼津市スポーツ協会は、焼津市のスポーツの統括団体としてスポーツ都市焼津が標榜する「スポーツを通して健康で明るく活力に満ちた市民」に寄与できるよう努めています。

